

DM ノバフォーム株式会社の株式会社事業承継機構への譲渡について

株式会社ダイセル（本社：大阪市北区、代表取締役社長：小河 義美）は、株式会社事業承継機構（本社：東京都千代田区、代表取締役：吉川 明、以下 JSK）の特別目的会社である株式会社 JSK14（本社：東京都千代田区、代表取締役：吉川 明、以下 JSK14）と株式譲渡契約を締結し、2025 年 3 月 27 日付にて、当社の連結子会社であった DM ノバフォーム株式会社（以下 DM ノバフォーム）のすべての株式を譲渡いたしました(*1)。

この度、当社の中期戦略「Accelerate 2025」に沿った事業構造の転換を推進する中で、中期戦略の実現と DM ノバフォームの安定した事業継続を目指すためには、DM ノバフォームの強みや可能性を十分に理解し、中長期的な視点で支援をいただけるベストオーナーを探索することが、各ステークホルダーにとって最適な選択肢と判断いたしました。

また、ベストオーナーの探索に当たりましては、DM ノバフォームが長野・青森・岡山で約 200 人を雇用し、地域経済に貢献していることを踏まえ、従業員の雇用維持と企業風土の尊重を最優先に考えていただけることを条件の 1 つといたしました。

DM ノバフォームは、1967 年の設立以来、高発泡プラスチックの技術力を深耕し、環境に配慮した信頼性の高い様々な緩衝材を開発・製造して参りました。現在、農業用・工業用の様々な製品群を擁するに至っておりますが、果実の出荷時に使用する包装用クッション材では国内トップの出荷量を誇り、果実の流通には欠かせない存在となっております。また、長野工場（本社）、青森工場及び岡山工場の 3 拠点より全国に高品質な製品を安定的に供給しており、取引先から高い評価を得ております。

JSK は「日本の宝である中小企業を残す」「雇用・経済・安全を子孫に残す」を事業目的とし、株式の永久保有（転売しない・統合しない・移転しない）を前提に事業承継投資と承継先の経営支援を展開しており、中長期的視点での中小企業支援を実践しております。また、元経営者や専門家などの人材を揃え手厚い支援体制を敷いており、支援実績も豊富なことから、DM ノバフォームを託すことのできるベストオーナーと判断し、同社が設立する特別目的会社 JSK14 へ DM ノバフォームのすべての株式を譲渡することにいたしました。

*1 当社は、DM ノバフォームの株主である三井化学株式会社より、その保有する DM ノバフォームの株式（発行済み株式の 35% 相当）をすべて譲り受け、DM ノバフォームを当社の完全子会社にした上で、JSK14 に譲渡いたします。JSK14 は JSK が DM ノバフォームの株式を譲り受けるために 100% 出資にて設立した特別目的会社です。

<DM ノバフォーム株式会社の概要>

社 名 :	DM ノバフォーム株式会社
設 立 年 :	1967 年
本 社 :	長野県上高井郡小布施町雁田 361 番地 1
事業内容 :	高発泡プラスチック製品（主に農業用緩衝材）の製造及び販売
従業員数 :	189 名

<株式会社事業承継機構の概要>

社 名 :	株式会社事業承継機構
設 立 年 :	2018 年
本 社 :	東京都千代田区麹町 2-6-5
事業内容 :	永久保有による事業承継投資、投資先の経営支援及び経営改善支援 承継企業 23 社、グループの合計売上高 181 億円、従業員数 1,040 名超
従業員数 :	6 0 名

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ダイセル IR 広報グループ

TEL : 03-6711-8121

Mail : public_relations2@jp.daicel.com